保育の魅力を保護者に伝えるための、少子化地域の行政との協働プロジェクト

石井　章仁　准教授
（家政学部　児童学科）

１．取り組みの目的

本学児童学科の保育を学ぶ学生が、人口減少地域である千葉県東金市の保育所・認定こども園の保育について、取材し、その良さを保護者や地域の子育て家庭へ周知する取り組みを行うことで、「情報提供」という趣旨の子育て支援を行うことを目的とする。

具体的な取組については、学生の目線で見た「保育の良さ」を保護者やこれから園を選ぶ地域の保護者に対して知らせるための広報冊子を作成した。なお、千葉県東金市の保育の取材については、今年度３回目となるが、前回・前々回と異なる点は、私立の保育園・認定こども園を対象に入れた点である。公私立の園双方を取材することで、市の保育現場を詳細に取材することが可能となる。

２．取り組みの方法及び内容

冊子の作成については、市のこども課の担当者との打ち合わせの後、冊子の内容を検討し、実際に10園を取材し、編集を行うという過程を経た。取材や編集は、参加学生５名が主体となって作成した。

冊子の写真は、ほぼ学生が撮ったものであり、一部園から提供されたものである。また、冊子のタイトルは、これまでのものを継続し、東金市の自然を生かした保育を見る場面が多かったため、学生のアイディアで「とうがねの園どうかね～とうがネイチャー」とした。

なお、写真の撮影については事前に市のこども課、各園と協議し、冊子にする際に改めて確認いただくことで承諾を得て行った。使用する写真については、全て保護者に確認を取っていただいた。

冊子は、200部作成し、市のこども課へ贈呈した。市のこども課より、各園に配付していただくとともに、地域の公共機関等、子育て家庭が手にとりやすい場所にて配布していただく予定である。また、ホームページでPDFファイルをダウンロードできるようにしていただく予定になっている。

３．取り組みの成果（作成した冊子の内容）

冊子の内容は、以下の通りである。表紙裏表紙合わせて、16ｐで構成されている

①表紙と裏表紙



②p1 市の保育／目次



③pp.2-3 外遊びが充実！



④　pp.4-5 季節の遊びが充実！



⑤pp.6-7 室内遊びも充実！



⑥pp.8-9 こだわりある保育！



⑦pp.10-11 異年齢で学び合う姿がある！



⑧pp.12-13 食育／子どもは遊びながら学び続ける



４．活動の成果

参加学生は、園の良い部分を探し、それを写真に撮り、撮った写真から数枚を選別し、ふさわしい文章を考える過程を通して、保育について、また子育て支援について、広義に「伝える」という業を通して、実習とは異なる手法での実践的学びの機会となった。

また、市の担当者や園の関係者も良いものができたと評価していただき、学生の自信となったと考える。人口減少地域の保育に光を当てる一助になれば幸いである。